

この10年を振り返り、次の10年を考える

さらに「市民が主役」
となる交流めざして――

流機能の拠点として、北名古屋市民国際交流協会が設立されました。そして10年。協会は、『市民が主役』となる草の根の国際交流を精力的に推進し、地域の国際化に貢献してきたところです。



日本語教室を開講したり、③国際交流を活用した地域づくりとして、地域を元気にする地域ブランドを企画し、開発するプロジェクトなど20事業を『市民が主役』になって推進しております。また、2008年には韓国務安郡とで友好都市交流が始まり、未来志向の中学生交流を進めてきました。加えて、昨年度から米国グアム準州とも中学生交流が始まり、交流の輪が広がっております。

このように協会の活動は、市民レベルでの取り組みであり、海外の人々や地域での外国人との小さな交流であり、その成果は、すぐには表れないものです。しかし、その一つひとつの積み重ねが、確実に、市民の意識を変えており、北名古屋を世界に開かれた地域に変えつつあると手応えを感じております。

今年は、協会設立10周年の記念の節目であります。2月に開催したアジア太平洋フェスティバルは、この10年の集大成として、協会の活動や地域の国際化の動きを振り返り、それらの成果のもとに、次の10年を展望する、絶好の機会となりました。

2007年10月。
多くの人と交流し、世界につながる夢と希望を広げるため、新しい北名古屋市にふさわしい国際交

協会の活動は、①国際交流の場づくりとして、例年2月に市民手作りのアジア太平洋フェスティバルを開催したり、②国際交流の担い手となる人づくりとして、協会ボランティアによる外国籍市民のための

KIIA 北名古屋市
国際交流協会会報

発行者 北名古屋市民国際交流協会
Kitanagoya City International Association (KIIA)
〒481-8531 北名古屋役所（西庁舎4階）
TEL 0568-22-1111（内線）2400

vol. 27
2017. 4.

初めての挑戦でしたが、韓国との交流では、韓国から辛恩珠（しん・うんじゅ）舞踊団をお迎えし、正統派韓国伝統舞踊の公演と日舞とのコラボレーションという日韓舞踊交流を実現することができました。新しいグアムとの交流では、北名古屋で活動するアロハカルチャースタジオの皆さんがポリネシアンダンスを披露いたしました。

また、10周年記念事業として、アイデア出しから企画運営、実施まで『市民が主役』として取り組む草の根海外派遣団を務安郡とグアムに派遣いたします。

北名古屋市民国際交流協会は、次の10年に向けて、さらに、市民の皆様のパワーを大いに発揮して、北名古屋を元気にしていきます。

北名古屋市民国際交流協会10年の歩み

2005年	愛知万博一市町村一国フレンドシップ事業で旧勝町が韓国、タジキスタン、旧西春町がエルサルバドルのホスト市町村となる	2013年 1月	「アジアフェスティバル」始まる
2006年 3月	北名古屋市が誕生する（師勝町と西春町が合併）	3月	運営企画会議のもとに、交流づくり委員会を設置する
2007年10月	北名古屋市民国際交流協会を設立する	11月	北名古屋地域ブランド産品企画開発が始まる
2008年 4月	北名古屋市と合同で友好都市提携調査団を韓国に派遣する	2014年 4月	北名古屋地域ブランドプロジェクト「イメージキャラクター」が決まる
7月	北名古屋市が韓国全羅南道務安郡と友好都市提携する	7月	務安郡女性指導者代表団を受け入れる
11月	「韓国フェア」を開催する	11月	韓国セウォル号事件により務安郡との中学生相互交流事業を見合わせる
2009年 8月	務安郡との中学生相互派遣交流が始まる		務安郡民間訪問団を受け入れる
10月	北名古屋市民訪問団を務安郡に派遣する		北名古屋市女性代表団を務安郡に派遣する
11月	商工祭に国際屋台を出展する		フェイスブックを始める
2010年 2月	国際交流の集い「ワールドパーティー」を開催する	2015年 4月	北名古屋地域ブランドプロジェクトイメージキャラクターの名前を「いっちゃん」に決定する
10月	尾張中央ロータリークラブが務安郡訪問団を派遣する	7月	韓国マーズ蔓延のため務安郡との中学生相互交流事業を見合わせる
2011年11月	務安郡食の文化交流団を受け入れる	9月	愛知万博10周年記念「一市町村一国フレンドシップフェスタ」に出展する
	「韓食文化交流の集い」を開催する		「新たな交流を求めて」北名古屋市民訪問団を米国グアム準州に派遣する
	北名古屋地域ブランドプロジェクトが始まる	11月	「新たな交流を求めて」市民アンケートを実施する
	「ふれあいフェスタ」に出展する	2016年 2月	「第4回アジアフェスティバル」に米国グアム準州が出展する
2012年 2月	協会設立5周年記念「韓国フェスティバル」を開催する	3月	北名古屋市制10周年記念式典に務安郡代表団が参加する
3月	「市民が主役」の交流のエンジン運営企画会議を立ち上げる	7月	北名古屋市民訪問団（主催尾張中央タイムズ社）を米国グアム準州に派遣する
	場づくり委員会、人づくり委員会、地域づくり委員会を設置する	2017年 2月	協会設立10周年記念「第5回アジア太平洋フェスティバル」を開催する
6月	「K-POPフェスティバル IN 北名古屋」を開催する	3月	米国グアム準州へ派遣する中学生語学留学事業が始まる
7月	北名古屋市民交流団を務安郡に派遣する		

演題「成熟社会の
在り方」

9月24日、北名古屋市民文化勤労会館大ホールにおいて、姜尚中（かん・さんじゅん）氏（東京大学名誉教授）をお迎えして、講演会を開催しました。以下は、その概要です。

生まれた時に誕生祝いがあり、亡くなればお葬式があつて、このようにして人間はいくつかの通過儀礼を経ながら歳をとり、最期は死期で終わる。普通に生まれて、普通に育つて、普通に通過儀礼を経て、最後は老いて死期が待っている。人が通過儀礼を経ていく、これに成熟社会が応えられるのが、普通の在り方だと思う。しかし、この20年で日本が成し遂げた、普通の人が普通に生きられる社会がそうではない。なりつつある。だからこそ「成熟社会の在り方」について考えたい。

日本は少子高齢化社会だ。出生率が減ってきて女性が学歴を持つ社会は晩婚化、無婚化が進んでいる。このような状況の中で日本が一番変わったものは、家族である。もっと進めば、家族が一つの家族のユニットとして成り立たなくなってくる。

一方では間違いなく所得格差も進む。日本で一番リッチな人がいるのは、東京都の港区で、一人当たり年間所得1000万円。日本で一番貧しいのは、わが故郷熊本県球磨村で、人口は3000人ちょっとで、一人当たりの年間所得は190万円。これは私たちの高校時代・大学時代ではなかった。日本の社会の良い点は、皆がほとんどに貧乏で、おすそ分けをしたりされたりしながら庶民の相互扶助というものがあった。今後私も年金をもらつ。しかし50年後、今の若い人は年金が出るだろうか。

高度成長期は大きいもの、強いもの、早いもの、高いものは良いということだった。そういう時代は終わった。

成熟という言葉の中には斜陽が含まれている。そして、このことを私が知る限り、世界でうまくやってきた国が一国だけある。それはイギリスだ。イギリスは間違いなく斜陽を最も楽しみながらここまでやってきた国である。イギリスは私達と比べるとかなり余裕があるように見える。ティータムが必ずあり、それなりに斜陽を楽しんでいる。斜陽というものを恐れず受け入れ、普通の生活が出来るようにしていく。私はここに成熟社会というものの一つの鍵があるのではないかと思う。

もう少し考え方を切り替える、大きなヒントが実は夏目漱石にあると思う。漱石はもう少し人が落ち着いて普通の生活が出来るような、そういう時代と社会を望んだ。明治維新という国づくりは、みんなが丸となって成長しようということだったが、それは疲れる。日本はそれとむしやらにやってきた。結果としては世界が羨むような経済大国になった。しかし、次をどうしたらいいのかわからない。そういう時代に来ているのをいち早く直感したのは漱石だと思う。

『それから』『三四郎』『門』を見れば、成長目指して頑張る人間ではなく脱力系なわけだ。

これまで日本がなぜ良かったか。どんな親から生まれようと、自分次第で学歴というフィルターを通してどんなものにもなれるということが保証されていた。しかし、今はそうではない。清貧の思想ではない。社会は常に爪先立って前に進もうとする、成長していかないと不安になる。これらの社会は厳しいかもしれないが、普通の人が普通の生活がおくれるように富の再配分をなんとか変えなければいけない。そしてもう一つは地域格差である。東京・大阪・名古屋だけで日本の人口は7割。富の7割はここにある。九州の富は全体の10%、北陸・東北併せて1割、北海道も併せて3割。では7割の他の世界はどうなってしまうのか。

地域というものが成熟社会を作っていく最も重要な土台になる。自分たちが住



んでいる地域を、お互いに支え合っていく故郷にしていけるか。4月14日、熊本地震の被害にあった。実は13日は神戸にいて、阪神淡路大震災を調べていた。

家屋の下敷きになった時、第一発見者は誰だったのか。最初に助けた人は、8割が町内の人で、2割が消防・警察・自衛隊の方だった。町内会や地域の結びつきが強いところほど助かっているのだ。これは間違いない。

球磨村で86歳と88歳のご夫婦を取材した。妻が認知症。「この村を出たいですか？」と聞いたら、出たくない、「ここが良い」と言った。村中で働けない人、動けない人をケアしてくれる。お金があるから良いかという、必ずしもそうではない。歳をとらないと分からないものがある。

東日本大震災が起きて、お金があってもミネラルウォーターも買えない状況だった。お金には限界がある。もっと大切なのは、社会関係資本を地域社会の中でしっかりと作っておくことだ。そのためには行政と市民のコラボも必要だ。行政の方は市民の要求をしっかりと受け止め、『北名古屋市は私達の町だ』という意識をどう作り上げていくか、これが成熟社会に通じる。漱石はそれをやるうとした。弟子たちを集め、人間関係を新しくつくろうとした。私もキーワードがそこにあると思う。

10年後を考えた時に、どういう考え方でそれに臨むと良いのか。答えは単純だ。『これしかない』と思わない。『あれもこれも』というふうに、リスクを分散することだ。お金だけではなくて、食べる物とのネットワークをしっかりとつづけておく。それと同時に地域社会をもう一回見直して、相互に支えあうようなしくみへと変えていけば、成熟した社会になっていけると思う。



通常総会を開催します

- 日時** 平成29年4月8日(土) 午前10時から
場所 北名古屋市民文化勤労会館小ホール **対象** 協会会員
議題 平成28年度事業報告・決算報告 平成29年度事業計画・収支予算など

※協会の総会は協会会員の方しか参加できません。 ※なお会員の皆様には、事前に開催通知をご送付させていただきます。



外国語講座を開講します

平成29年5月から平成30年2月まで、全20回です。3か国語5コースの外国語講座です。気楽にはじめ、国際理解を深めましょう。

- 時間** 午後7時～8時45分 **場所** 北名古屋市民健康ドーム研修室または会議室
対象 市内在住・在勤の方もしくは協会会員 **受講料** 一般/年14,000円 会員/年11,000円
定員 各講座とも30名(先着順)
申込み 平成29年4月3日から受講料を添えて協会事務局へ申し込みください。なお開講日は、原則をお示ししております。詳細は、HP、事務局でご確認ください。また、お申し込みが15名以下は、開講を見合わせる場合がありますので、あらかじめ、ご了承ください。

講座	開講日
韓国語基礎	毎月第2・4月曜日
韓国語応用	毎月第1・3木曜日
中国語	毎月第2・4木曜日
英会話基礎	毎月第2・4水曜日
英会話応用	毎月第2・4金曜日

各種 **申し込み** **お問い合わせ** 等は下記までお願いします。

〒481-8531 北名古屋市民西之保清水田15番地 北名古屋市民役所西庁舎4階

北名古屋市民国際交流協会

TEL 0568(22)1111 内線2400 FAX 0568(25)1800

Eメール info@kitanagoya-kiia.jp ホームページ <http://www.kitanagoya-kiia.jp>
フェイスブック <https://www.facebook.com/kitanagoyakiia>



市民の皆さん!

米国グアムとの草の根交流に参加しませんか!

今年は、北名古屋市民国際交流協会が設立されて10周年の節目の年になります。この10年を振り返り、次の10年を考えるため、草の根交流派遣団を米国グアムに派遣します。この草の根交流派遣団は、《市民が主役》となる国際交流をめざし、アイデア出しから企画運営実施まで市民手作りで取り組みます。草の根交流に関心のある市民の皆さんの応募をお待ちしております。

- 日時** 平成29年6月28日(水)から7月1日(土) 3泊4日
派遣国 米国グアム
参加費 55,000円(パスポート取得費。その他、個人費用は除く)
内容 米国グアムでの草の根交流、施設見学等
募集人数 約20名
応募資格

- 市内在住または在勤の方、もしくは協会会員で、18歳以上の方
 - 事前説明会、研修会、報告会に参加できる方
 - 草の根交流を理解し、協会活動に支援できる方
- 応募方法** 次の書類を4月17日(月)までに協会に提出してください。
●参加申込書(協会HPからダウンロードまたは事務局でお渡しします)
●作文(1,000字以内)

テーマ「グアムとの交流で私のできること、やってみたいこと」

選考方法 提出された文書をもとに選考します。

決定通知 4月25日(火)までに書面で通知します。

